



逆算して計画を立てる大切さ

こんにちは、福西萌奈です。大学1年生の秋頃から約2年半、ENIGMAの非常勤講師として働いています。私は公立の中学校から高校受験を経て、西大和学園に入学し、現在は神戸大学で国際問題を政治の観点から学んでいます。

4月が間近に迫り、新しい一年にわくわくしている方や、勉強のことを考えて焦っている方もいるかもしれません。私自身も、高校2年生の時は受験を意識しなければならぬ年だったため、4月には少し焦っていたことを覚えています。中高一貫の学校に高校から入学したため、私を含めて周囲は「追いつかなければいけない」「大学入試まで時間が足りない」と必死に勉強していました。しかし、焦って無理に勉強を始めても成績が伸びるわけではなく、逆に疲れてしまうことが多かったように感じます。焦りすぎずに、新学年を気持ちよくスタートできるよう、私が高校生の時に先生から言われたことを紹介し

たいと思います。

高校の先生からは、「逆算しろ」と常に言われていました。直近の模試に向けて、今自分は何が不足しているのかを確認し、模試までの日数を考慮して、どの時点で何をどこまで終わらせておくべきかを計画するようにと教わりました。高校生にとっては、大学受験を見据えて逆算して計画を立てることが特に大切だと思います。例えば、いつ頃から志望校の過去問に取り組みたいのか、そのために基礎をいつまでに固めておく必要があるのか。大学受験という最終目標から逆算して長期的な計画を立てつつ、定期テストや模試のような短期的な計画も考慮することが重要だと思います。

「自分の経験も参考に、生徒に学習計画もアドバイスしています」私は高校3年生の4月から志望校の古典で7〜8割をキープしたいと考えていたため、高校2年生の秋頃に古典の勉強計画を立てました。助動詞などの文法が全く理解できていなかったため、10・11月で文法を問題集で学び、12・1月で簡単な読解問題を使って実践的に文法を身につけ、2・3月に少し難易度の高い読解問題に取り組むというように、実力を身に付けられるように段階的に計画を立てていました。足りないことを確認し、目標から逆算して計画を立てることで、

福西萌奈(エニグマ)

焦りつつも着実に進むことができ、高校3年生をいい形で始めることが出来たと思っています。

新学年を気持ちよくスタートするためにも、自分の目標や不足している部分をしっかり把握し、逆算して計画を立ててください。計画を一人で立てるのは難しいこともあるかもしれませんが、その時はぜひ周りの先生にアドバイスを求めてみてください。



▲自分の経験も参考に、生徒に学習計画もアドバイスしています

Growing

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

March 2025
Vol. 150
毎月10日発行

【本部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【カイクベ】 城東区今福西 3-4-9 TEL.06-6180-6865



高木 秀章(塾長)

私立合格おめでとう。 今年も新年度がスタートしました。

厳しかった寒さも少しずつ緩んできて春の訪れを感じます。今年も私立入試の結果ができました。みんな本当にお疲れ様。

高校受験では225人が受験し全員合格することができました。今年度は奈良の西大和に2名、大阪桐蔭に5名(内1類エクシード4名)、近畿大学附属に30名(内Super文理9名)、四天王寺1名、桃山学院5名、大阪国際53名(内スーパー文理探求α16名)同志社系列校に3名、関西大学系列校に5名など、上位校にもたくさんの合格者を出すことができました。また、特待で合格する生徒は22人もいました。

大学受験では、2/25日時点で国立公立が現状で大阪公立大学2名、兵庫県立大学1名、私立は複数学部に合格した人も1つの大学に合格したとカウントして関関同立が過去最高の31名(同志社5名、立命館2名、関西学院8名、関西大学16名)産近甲龍が18名(近大6名、龍谷大12名)。まだこれから国立前期試験・後期試験の結果も残っていますが、わずか60名の高3生達の結果ですから素晴らしいと思います。カイチ予備校も開校7年目。予備校として生徒達と共に着実に成長してきました。



▲新諸口予備校&カイクベは70坪の大きな教室です

このGROWINGを書いている2月末、教室では本命の公立高校、国立・公立大入試に向けて正念場を迎えています。このGROWINGが届く頃には、公立高校受験や国立大学受験の前期はすでに終わっている頃かもしれません。みんなの健闘を心より祈っています。

今年も皆様のおかげで、新年度をスタートすることができました。私はもう33年この仕事をしていますが、毎年新入生が来てくれるのだからと不安です。新入生が来てくれるかどうかは、昨年度いかに本気で生徒達と向き合って指導できたかどうかの評価だと考えています。今年も通塾していただいている皆さんの期待に少しでも応えられるようにスタッフ一同、力を合わせて頑張ります。

今年度は3月より新しく諸口教室の近く、諸口5丁目サンディーの横にカイチ予備校とカイクベの併設校舎がオープンしました。この校舎は70坪、カイチの校舎の中では最大です。カイチ予備校諸口校は2年前より、1年目は高1、2年目は高1・2という形で1年ずつ指導学年を増やし、3年目の今年で高1〜高3までが揃いました。そこで、より良い学習環境で生徒達が学べるようにと今回の移転となりました。

また、この校舎に併設しているカイクベは、なんといっても内装がオシャレです。実は私と私の奥さんの奈穂子先生で休日を返上して、家具を組み立てたり小物を買ったりして完成させました。こちらは、教室長の高木先生の希望で、集団が苦手な子供達でも快適に勉強できる環境を作って欲しいというリクエストで作りました。土・日で作業している間も、自習ブースにはたくさん生徒達が自習に来ていて、ランチタイムに女子たちが、食事スペースにギューギューで入って嬉しそうにご

▲頑張って、家具を作って…

飯を食べている姿を見て、食事スペースを作って良かったなと、うれしい気持ちになりました。

また、今年度は昨年度に続き中3生の合宿を夏と冬で希望制で実施します。昨年度は夏・冬とも大盛況で予定の定員を超えて多くの申し込みがありました。私もきつい夏期講習や冬期講習の間で缶詰になる合宿なんて…と思っていたのですが、冬の合宿を見て考えが変わりました。

もう、とにかくみんな元氣!勉強にネガティブなイメージを持っているのは私の方で、みんなは、むしろ集中して長時間、頑張ることを楽しんでいるようでした。トイレで会った生徒達に「しんどくない?」と聞くと「いえ、あと3日やっても大丈夫ですよ」と話していました。彼らにとって、他の校舎の先生達や生徒達と一緒に切磋琢磨して学ぶ機会が刺激的なようです。また、合宿参加者たちのその後の成績アップと、その後の学習の取り組みが明らかに変わったという先生達の報告も、今年度実施の理由です。中3生のみんなは、是非参加を考えてみてください。



▲昨年度好評だった夏と冬の合宿は今年も実施します!

またトリーキングキッズでは、イースターイベントを4月に企画中です。カトリナ先生やシルバ先生を始め、主任の近久先生、峯上先生が、英語を学びながら異文化に触れられるレッスンのアイデアを色々出しています。こちらも是非、楽しみにしてください。

春の遠足の準備も進んでいます。今年は3月にリニューアルオープンする神戸のバンドウ電気科学館が有力候補です。川西先生が休日を利用して下見に行ってくれています。昨年は雨でできなかった教室対抗ドッチボール大会もやります。もちろん先生達も助っ人です。

カイチは年々生徒が増え、それに伴い先生も増えましたが、やっていることは昔から何も変わっていません。先生達でこれをやってみようとか、あれをやってみようとか、そして、生徒達に対しても良いことは思いっきり褒め、ダメなことははっきり叱る、そんな塾でありたいと考えています。

みんなと本音で本気でぶつかる場所。そんな場所にカイチをしていきたいと思います。

今年も1年、至らないところもあるかと思いますが、少しでも皆様のお役に立てるような塾に成長していけるように情一杯頑張っていきたいと思っています。今年度もよろしくお願いたします。



▲今年初のイースターイベントをうご期待!

小幡のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

小幡 翔太郎(関目教室)

もはや塾では日本一!? ～関目教室アメちゃん事情～

皆さんこんにちは。記事を書いている今、実は2月22日なのですが、今週頭から今週末にかけて、大型寒波がきておりま(めっちゃ雪降った、あの週です!)。関目教室の寒い寒い事務室の中で、この記事を書いております…。

本日は重中学校・旭東中学校の9時間自習だったので、関目教室の9時間自習での名物と言えば「アメちゃん」です。普段はあまり気にせずに、家にあっただけ食べるかな?くらいのものだと思うのですが、9時間自習では、みんな脳みそフル回転で長時間の自習に臨んでいます。そのため、糖分補給のために教室からお菓子を出してもいいことになっているのですが、実は中身は各教室の裁量に任されています。関目教室では、長持ちし、アレルギーも少ないので、毎回「アメちゃん」が大活躍します。普段の生活では、こんなにアメを渴望することは

無いと思いますが、9時間自習中のアメは価値が違う!先生が配り忘れようものなら、暴動が起こる一歩手前までいきます。逆にアメを配っている間、その先生は神様のような扱いを受けます。私も、アメを配っているときだけは「イケメン!」と言ってくれるので、その時だけは笑顔で配り歩きます…。



▲1番人気は「あめ玉!!」名前がそのままです(笑)

一年間でどれくらい配ってるのかな?と思い立ち、計算してみました。アメちゃんは、1袋で65g〜160gと、種類によって結構内容量が違います。大体の平均を取って、1袋110gと仮定します。1回の9時間自習で、小幡が仕入れてくる量はだいたい60袋!9時間自習は年間5回ありますので、110g×60袋×5回=33,000g=33kgとなりました。ここに、夏のピンゴ大会やクリスマス会で使用するアメちゃん(大体3kgずつくらい)と、会社関係なく小幡がちよるちよる買って配っているアメ(年間3kgくらい?)



▲クリスマス会買い出しの1コマ。カートの荷物は、全体のごくごく一部です…。

を合わせると、年間およそ42kg!!なかなかあげつけない量を消費してますね…。

その分、中学部のみんなが頑張ってくれていますので、これからも続けていきたいです。皆さんも、「安くて(ここ重要)おいしいアメがありましたら、小幡までお知らせください〜!



▲おいしそうなあめ玉!?!……ではなく、ガチャガチャであてたキーホルダーです。



▲「あったかいと眠くなるんです〜」と、廊下で自習している2人。寒くないの?

カイチからの お知らせ

- 3月12日(水)は公立入試です。受験生の皆さんガンバレ!
- 3月13日(木)は公立受験採点会&茶話会を行います。中3生是非参加してください。
- 3月21日(金)は公立入試合格発表日です。
- 3月24日(月)〜4月4日(金)でカイチ予備校の春期講習を実施します。高1は無料とさせていただきますので是非ご参加ください。
- 3月17日(月)〜4月1日(火)は小・中学部の春期集中授業と春期講習を実施します。詳しい時間割は授業内で配布します。
- 開智総合学院とカイクベ(カイチ予備校・エニグマ・かいち学童は除く)は4月2日(水)〜4月5日(土)、万緑会は4月1日(火)〜4月5日(土)は春休みです。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

5年目から6年目へ

近久 賢治(高殿教室)

寒さも少しずつ和らぎ、春の訪れを感じるようになりました。高殿教室の近久です。

気付けば早いもので高殿教室も5年目が終わろうとしています。この記事を書いている頃は2月も半ばで中3の公立受験校が決定し、ラストスパートをかけている真最中であると同時に、新入生の合同説明会、英検の一次試験の結果や珠算の上級検定の結果が出た頃で、毎日を目まぐるしく過ごしております。

今回はそんな高殿教室の1年の振り返りをさせていただきます。

まずはキッズ部門です。珠算部は続々上級検定に合格しました。年々教室全体のレベルが上がってきているように思います。そしてついに、1級合格しました! どうすれば合格させてあげられるか、時間配分や、乗算、除算、見取り算、どれを重点的に練習させるか、あーでもない、こーでもない...と珠算担当の辻本先生と話し合うこと数年。先生方と、何より生徒たちの頑張りがようやく実を結びました。次は12月の競技会を上位常連に、または段位を目指すべく頑張っていきたいです。



▲検定合格オメドウ!

トーキングキッズではいつも元気な声が飛び交っております。英検合格! という目標も前提としてありますが、カトリナ先生、シルバ先生の「生きた英語」を学ぶことも人気の秘訣になっていると思います。お二人にはトーキングキッズ部門の会議でお話する機会がよくありますが、話していると授業や授業中のゲームに関する斬新なアイデアが毎回登場し刺激になります。来年度もアツと驚くようなアクティビティを企画しておりますのでどうぞご期待ください。



▲クリスマス会も大盛況でした

続いて小学部です。5年生も6年生もとにかく元気でキャラクターが濃い! 毎回楽しく授業をしております。5年生は勉強の習慣が徐々に身についてきました。あと一歩のところまで来ていますので、もうひと踏ん張りしてもらえたらと思います。6年生は貼りだし常連の子が増えてきて「戦う集団」になる準備を着々と整えてきております。塾では3月から中学生になりますが、今の努力は中学生になっても通用しますので、このままの勢いで頑張ってください。

続いて中学部です。中1は時には厳しく、時には楽しく、メリハリのある雰囲気勉強ができるようになってきました。これから先受験という、おそらく最初になるであろう人生の分岐点を迎えるべく、今の姿勢をしっかりと守ってってもらいたいです。「どれくらいやれば、どれくらいの点数になるか」を実感しながら次のテストも良い結果になるよう頑張ってください。



▲どれくらいやればいいんだー!

中2クラスは教室一の大所帯です。最近部活が大変そうでグツツリしている子も見受けられますが、ここが踏ん張り時です。辛い時やしんどい時に少しずつでも進めるんだ、という気概があると、来年必ず良い方向に進みます。しっかり目標に目を向けて取り組んでください。



▲今年入社の瀧本先生も頑張ってます!

そして中3ですが、この1年で勉強への姿勢がみんな格段に良くなったと思います。大変な時期もあり、厳しい言葉を投げかける瞬間も何度かありましたが、いよいよ最後の公立入試です。面談でも色んな生徒に言ってきましたが、本当に年明けあたりからみんな「エエ表情」になってきています。模試や面談など進路に向けていよいよ決まってくる時期です。数ある塾の中でカイチを選んでくれてありがとう。最高の結果を出せるように最後まで一緒にもうひと頑張りしましょう。

高殿教室も5年目から6年目になるにあたり、世代交代の時期に入っています。離れていく先生や、新しく迎える先生もいる中で、私自身はしっかり自分の芯を持って、先代から受け継いだ教養を後世に受け継いでいかなければなりません。これからも「生徒の帰れる場」になるようずっと変わらぬ高殿教室であり続けるよう頑張っていきますのでよろしくお祈りします。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

坂道をのぼって

対島 広史(カイチ予備校蒲生校・諸口校、エニグマ)

坂道をのぼって大学へ。比喻としての坂道ではなく、物理的な坂道です。

大学は中学校、高校に比べて多くの学生がいますし、理系学部を持っている大学だと実験施設もあるので、大きな敷地面積が必要となります。その結果、大阪や京都の中心部ではなく、郊外にキャンパスがあることも多く、中には坂をのぼって通わないといけない大学もあります。

今回は、坂道が特徴的な、「坂のある大学」をご紹介します。

神戸大学

神戸は坂の街。神戸大学に通う学生は、坂道のしんどさは受け入れなければなりません。神戸大学のメインキャンパスは、六甲台キャンパス。毎日、六甲山の登山を楽しめます。



▲神戸大学(六甲台キャンパス)

通学ももちろん大変なのですが、学内の移動も結構傾斜がきつく、大変です。ただ、大学から見える景色は抜群です。遠くには海が見え、港町神戸を感じながらの学生生活です。



▲自転車の移動も大変



▲景色は抜群

同志社大学

同志社大学は京都の大学。鴨川を見ながら古都の雰囲気を楽しめると思いますが、それは今出川キャンパスの話。今回は京田辺キャンパスです。こちらは、京都府とはいえ、ちょっといけば大阪府、ちょっといけば奈良県という場所にあり、かなり田舎です。それでも一応「京都府」にあるのは京都の大学としてのこだわりでしょうか。



▲同志社大学(京田辺キャンパス)

この同志社大学京田辺キャンパスは、最寄りの近鉄興戸駅もしくはJR同志社前駅から徒歩10分程度なのですが、これがなかなかの坂道です。だらだらと続く坂道が学生の体力を奪っていきます。



▲駅から大学に向かう坂道

次の問題は同志社大学の物理、斜面を転がる物体の入試問題です。京田辺キャンパスはほぼ理系の学部。これくらいは解いて、4年間の坂道通学を乗り切つてね、ということでしょうか。

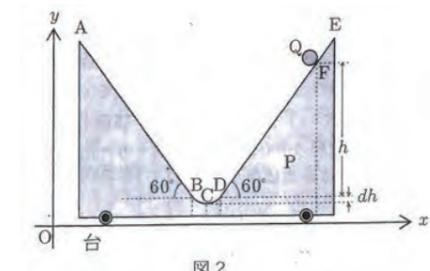


図2

▲同志社大・物理の問題

大阪教育大学

関西で坂が有名といえば、何とんでも大阪教育大。もはや坂というより、「何で山の上に大学作ったの?」という感覚。最寄り駅、近鉄大阪教育大前駅から歩いていくのは厳しいので、長いエスカレーターがあり、それに乗って通学します。



▲大阪教育大学

この大学も、もちろん景色は抜群です。「あー、いい景色を楽しめた、さあ帰ろう」となって、「あれ、下りのエスカレーターないんだ」ということに気づきます。「下りは楽だから歩いて帰ってね」ということです。



▲ほんとに山



▲エスカレーターを乗り継ぎます



▲この景色も抜群

今の受験生は、志望校決定の前に学校見学に行く人が多いです。学校の雰囲気をつかむことも大切ではあるのですが、実は「通学の大変さ」を知ることも重要です。入学試験の時に初めて坂道を知ってビックリすることのないように。